

慈明院寺報十二月号

鹿を指して馬と為す

はや師走、今年も残りわずかである。振り返れば色々あつた。

日本初の女性総理大臣の就任、ミスター・ジヤイアンツ・長嶋茂雄さんの逝去、大谷翔平選手が所属するドジヤースのワールドシリーズ連覇、令和の米騒動や

トランプ関税など「そんな馬鹿な！」と驚くような出来事も多い一年だつた。



「鹿を指して馬と為す」これが馬鹿という言葉の由来だとされている。昔中国の秦の始皇帝の死後、若い息子が二世皇帝になつた。すると趙高という悪い家臣が宰相となつて権力を握り、自分の思うままに横暴な政治を行つた。

ある日、趙高は自分の権力を試してみようと、皇帝に鹿を献上し、「これは馬でござりますとたくさんの家臣の前で言い放つた。まわりの家臣は皇帝を軽んじた行為に驚いたが、趙高の権力にへつらい反論する者はいなかつたといふ。しかも正直に鹿であると答えた家臣は、趙高によつて処罰されてしまう。この故事から間違つた事を無理やり押し通したり、他人を愚弄する事を馬鹿（バカ）と表現するようになつた。

馬は溫和で敏感な社会性の高い動物であり、人のパートナーとしての歴史も長い。家畜として運搬や農耕、移動手段として重宝された。日本では馬頭観音という動物を救済する觀音菩薩にも、その姿が取り込まれている。馬頭観音は「馬が一心に草を食むように、人の煩惱を食べ尽くし救済する」仏様だという。昔は家畜の動物を供養する為に、道の辻や馬の墓所にまつられた。何でも今は競馬の前に拝む人があるのだとか・・・馬頭観音も苦笑いだろう。

情報の多い時代である。人間万事、塞翁が馬ではあるが、自分の心に鹿を馬と偽る事が無く、皆様の新年が『ウマく』いきますように。

住職 合掌

新年のご案内 初大黒天 護摩祈願法会
正月元旦、恒例の「令和八年 初大黒天 護摩祈願法会」を左記日時にて奉行致します。皆様のご参拝をお待ちしております。(詳しくは別紙参照)

一番座 一月一日 午後一時より(正月元旦のお昼十四時より)

*古いお札・お守り等、当日お持ち下さい。後日供養致します。
*紅白もち、縁起物のお菓子をお接待致します。

(来年)令和八年の年忌について

一周忌	令和七年	逝去
三回忌	令和六年	リ
七回忌	令和二年	リ
十三回忌	平成二十六年	リ
十七回忌	同二十二年	リ
二十三回忌	同十六年	リ
二十五回忌	同十四年	リ
二十七回忌	同十二年	リ
三十三回忌	同六年	リ
三十七回忌	同二年	リ
五十回忌	昭和五十一年	リ
七十四回忌	同三十一年	リ
百回忌	同二年	リ

年忌の法事はご命日より前に行う場合が多いですが、必ず前でなければならぬという訳でもありません。命日を過ぎて、ご法事をなさつても大丈夫ですし、都合の良い日にちでご供養して頂ければと思います。

* (昭和六十四年) は (平成元年)
(平成三十一年) は (令和元年) と同年。

慈明院(じみょういん) 〒八一一一三一 福岡市早良区大字西二三四一-二〇

TEL(092)804-4570 FAX(092)804-4605
住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一(五二八一)-七四九四